

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

		管理No.	
施設の名称	山形県生涯学習センター	指定管理者	公益財団法人山形県生涯学習文化財団
所在地	山形市緑町1-2-36	県担当課 (電話番号)	教育局生涯教育・学習振興課 (023-630-3126)
指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日		
検証期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日		

検証項目		指定管理者による自己検証		県(施設所管課)による評価・検証	
1 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況					
① 管理・運営業務の履行状況	・生涯学習センターの管理・運営業務については、県から示されている仕様書等に従い、効果的・効率的な施設管理に努めた。 ・特に、館内の施設設備及び危機管理等について、情報を共有し、連携して対処するため、「遊学館入居施設連絡調整会議」を開催し、館内の諸問題に適切に対処した。	評 価	《評価の理由》		
		A	・業務全般について、仕様書に基づき適切に行っている。 ・施設の老朽化により施設管理が難しい中、入居者等の状況を的確に把握し、優先順位を定めながら適宜修繕等を行い、利用者に支障が無いよう管理している。		
② 管理・運営上の課題、問題点（改善すべきこと）	・館内の空調設備、舞台音響・照明設備、消防設備等について、大規模な修繕や更新が必要と保守点検業者からの報告があり、優先順位を付けたうえで計画的に対応する必要がある。	《課題等の原因分析》 ・遊学館は開館から35年以上経過しており、建物や設備等の老朽化による不具合や突然の故障が多発している。 ・修繕にあたっては、部品供給が終了しているものもあり、設備更新について、優先順位を定めながら計画的に実施していく必要がある。			
課題、問題点への今後の対応	・遊学館については建物や設備の不具合が多く、洗心庵も含め、利用者の安全や貸館上の支障になるものから優先して工事等を行うこととし、年度ごとに優先順位を見直しながら、確実に工事等が実施できるよう予算の確保に努める。 ・空調設備は令和7・8年度に更新工事を進めている。自家発電装置は令和8・9年度に更新工事を執行予定。 ・設備類の修繕・更新工事等を行う際は、できるだけ利用者に影響の少ない時期に実施するように調整する。				
2 利用者からの要望等への対応					
① 意見・要望等及びその対応状況	・利用者からの意見・要望としては、空調の温度設定や駐車場の誘導表示等について意見が寄せられた。 ・冷暖房については、利用者の要望に応じて、冷暖房の温度設定について柔軟に対応するとともに、必要があれば扇風機や温風機を無料で貸し出すなど、臨機応変な対応を行った。 ・駐車場については、場内に新たに蛍光色の誘導表示を引くとともに、遊学館駐車場と認識できる新たな看板と誘導表示板を入口ゲート付近に設置するなどの対応を行った。	評 価	《評価の理由》		
		A	・利用者の意見要望を把握し、事業運営に反映させる仕組みを構築している。 ・利用者からの意見要望を踏まえ、柔軟な対応・工夫を行っている。		
意見・要望等への今後の対応	・今後も引き続き、指定管理者より利用者の意見及び要望の把握に努め、サービスの更なる向上につなげていく。				
3 指定管理者制度活用の効果					
① サービスの向上	・ホームページ上に、ホール・研修室等の施設設備内容、利用料金、空き状況や各種催事案内等の情報を掲載し、利用促進に努めた。 ・扇風機や温風機の無料貸出により、冷暖房が稼働しない時期も快適な環境で利用できるようにした。 ・研修室エリアのWi-Fi環境を整備し、インターネット利用環境の改善を図った。	評 価	《評価の理由》		
		A	・利用者サービスの向上のため、設備面・運用面で積極的な改善措置を講じている。		
② 経費の節減	・館内全体で光熱水費の縮減に取り組んだ結果、電気の年間使用料については前年度以下に、水道・重油の年間使用料については、前年度並みに抑え込むことができた。 ・委託業者と協働して消耗品の数量チェックを徹底することにより、最小限の数量購入を実現できた。 ・一部の貸館利用者に許可書等の郵送をせず、手渡しにすることで、郵便代を節約することができた。	評 価	《評価の理由》		
		A	・物価等が高騰し経費の増大が避けられない状況下で、限られた経費の中で、関係者と協力し、積極的に光熱水費や事務経費等の縮減に取り組んでいる。		
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	・4施設（遊学館・洗心庵・文翔館・教育資料館）連携事業として、講演・パネル展・スタンプラリーを実施し、歴史文化ゾーンの活性化に努めた。 ・洗心庵では、呈茶事業（年4回）や写真コンテストを行った。写真コンテスト入賞作品を展示したほか、ホームページでも優秀作品のPRを行った。	評 価	《評価の理由》		
		A	・近隣施設と連携した事業を積極的に展開し、地域の賑わい創出に寄与している。 ・継続的な自主事業や積極的なSNS発信によって、洗心庵にかかる需要の掘り起こしやPRを継続して行い、利用の増加に繋げている。		
総合的な評価		・毎月、施設関係者と情報共有を図る機会を設けており、施設管理者として積極的かつきめ細やかな管理運営を行っている。 ・利用者重視のサービス提供のほか、近隣住民や関係施設との連携にも努めており、生涯学習の拠点として施設の利用促進と地域活性化に資する取り組みを行っている。			

【評価指標】

- A：仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
- B：概ね適正に実施されている。
- C：部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
- D：仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注）検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。